

## オシドリ *Aix galericulata* (Linnaeus)

### 【選定理由】

県内での繁殖や、繁殖期の生息記録は少数確認されており、数年間継続して繁殖した例はあるが、安定した繁殖地はない。近年繁殖期の確認例は減少傾向にあり、愛知県では繁殖個体群が準絶滅危惧と評価された。越冬期に数百羽の大群が見られる機会は少なくなっているが、小群の越冬が可能な河川や池沼は各所に残されているので、越冬個体群はリスト外と評価された。

### 【形態】

全長 45cm。繁殖羽の雄は嘴が赤く頭と頬から頸および三列風切は栗色、脇は黄褐色で眉斑は太く長い白色。胸と背および体の後部は紫色に白線がある。雌は全身淡黒褐色で胸と腹は丸みのある淡色斑で覆われ、眼の周りとは後方に細い白線がある。雄の若鳥や非繁殖羽は雌に似るが、嘴は赤く先端だけが白い。雌の嘴も先端は白いが、色は褐色である。



愛知県豊田市, 2005年1月22日, 杉山時雄 撮影

### 【分布の概要】

#### 【県内の分布】

冬鳥として県内全域の河川や山地、丘陵地、平地の湖沼などに飛来し、西三河および東三河の山間部で繁殖する。

#### 【国内の分布】

主に冬鳥として全国に飛来するが、北海道や本州では繁殖しており、九州や沖縄でもごく少数の繁殖記録がある。

#### 【世界の分布】

ロシアの南東部から中国東部・朝鮮半島・日本・台湾に分布し、冬期は主にその南部および南西部に移動して越冬する。

### 【生息地の環境／生態的特性】

大木の樹洞や橋のトラスなどに営巣し、ヒナは孵化するとすぐに地上に飛び降りる。冬期は比較的広い河川や池沼で越冬し、時には海上で見られることもある。開けた水面に出ることも多いが、水面に張り出した樹木の下で生活することを好む。主に植物食で水草などを食べるが、ドングリも好んで食べる。水辺から離れた尾根で採餌することもあれば、潜水して水底の餌を採ることもある。

### 【現在の生息状況／減少の要因】

県内の繁殖環境は社寺にある大木の樹洞や橋のトラスなどであるが、繁殖減少の要因として樹洞では繁殖に適した状態の期間が短いこと、人工構造物では繁殖の条件を全て満たし難いことなどが推測される。越冬期には100羽を超す群れを見ることが少なくなっているが、要因として周囲を林に囲まれた広い池や淵の環境や、人の立ち入らない水辺が減少していることがあげられる。

### 【保全上の留意点】

県内における橋梁での繁殖例は1例のみであり、条件の良い樹洞を有する大木も減少している。今後は自然樹洞の代替として巣箱の設置など、積極的な保護対策も必要と思われる。越冬期の生息数も減少しており、林等で遮蔽された河川の淵やため池など、越冬環境の保全も必要である。

### 【特記事項】

本種の営巣に適した大きさの樹洞は、ブッポウソウやオオコノハズク、ムササビなど多くの野生生物に営巣場所やねぐらとして利用されるが、社寺林をはじめ樹洞ができる程の大木は減少しており、樹洞の状態もそれぞれの種の営巣に適する期間は長くない。自然樹洞が少なくなっている現代では、本種以外の種を含めた野生生物の保護対策としても、巣箱の設置は効果的である。

### 【関連文献】

黒田長久, 1984. 黒田長久編, 決定版 生物大図鑑 鳥類, pp.66-67. 世界文化社, 東京.

(高橋伸夫)